

Adobe Document Cloud と Microsoft 365 の連携

自動化と100%ペーパーレス化を実現する文書ワークフローにより
従業員の生産性と作業効率を高め、いつでもどこでも業務を遂行できるようにしましょう

デジタルトランスフォーメーションは、単に紙ベースのプロセスをなくすことだけではありません。手動のプロセスを自動化して遅延やミスを防ぎ、セキュリティを向上させ、顧客と従業員に優れたエクスペリエンスを提供することを意味します。Adobe Document Cloud と Microsoft 365 の連携では、Acrobat DC、Adobe Sign、およびPDFサービスがMicrosoft 365 と SharePoint に組み込まれています。この連携により、手動での紙ベースのプロセスを確実なデジタルエクスペリエンスに変換することで、顧客に好印象を与えると共に、生産性を向上させ、チームでの共同作業を加速することができます。

ビジネスの効率化を推進

Adobe Document Cloud により、PDF と電子サインの強力なツールが Microsoft 365 アプリケーションに追加されるため、組織内のあらゆるユーザーが迅速に共同作業でき、承認ワークフローを加速することができます。

- Microsoft Outlook や Word、PowerPoint、Excel、SharePoint、OneDrive などのナビゲーションウィンドウから、Adobe Sign や Adobe Acrobat、PDF サービスに直接アクセスできます。
- Word や Excel、PowerPoint の文書を、フォントや書式設定、レイアウトなどを維持したまま、高品質なアドビの PDF に変換できます。また、必要に応じてパスワードで保護することもできます。
- アーカイブや配布のために、複数の 365 ファイルや画像、テキスト、PDF をひとつの PDF に結合できます。
- Acrobat DC では、OneDrive と SharePoint に保存されている PDF を直接表示および編集できます。また、アドビの web ベースの PDF ビューアでは、オンラインで表示、検索、共同作業ができます。

- PDF を Excel や Word、PowerPoint のファイルに書き出すことができます。
- 電子契約書の作成や電子サインによる承認依頼の送信、進捗状況のトラッキングなどを Word や PowerPoint、Outlook、SharePoint、Teams 内で実行できます。
- 署名用の文書を受け取った顧客や従業員は、いつでもモバイルを含むあらゆるデバイスまたはブラウザで文書の入力、署名ができます。

「州政府では、SharePoint を全面的に導入していますが、Adobe Sign は SharePoint のモジュールとして柔軟に統合され、同じプラットフォーム上で使用できるため、非常に便利です」

MICAH HWANG 氏、ハワイ州政府サービス提供スペシャリスト

Microsoft SharePoint と Adobe Document Cloud を使用した承認ワークフロー例

				
ステップ1. 文書が SharePoint で作成される オンラインの Acrobat PDF ツールを使用して複数の文書を結合することにより、SharePoint で新しい注文書の PDF が作成される。	ステップ2. 文書が承認用に閲覧される Power Automate で作成されたカスタマイズワークフローに従い、Adobe Sign によって注文書が承認用に閲覧される。	ステップ3. マネージャーA、マネージャーB、マネージャーC 10万ドル未満の注文書は自動的にマネージャーAに閲覧。 10万ドル以上の注文書は自動的にマネージャーBとマネージャーCに閲覧される。	ステップ4. 文書が承認される Adobe Sign で注文書に電子サインされ、承認される。	ステップ5. 承認済み文書が SharePoint の Workflow Manager で保管される 署名された注文書と承認プロセスで収集されたデータが SharePoint に保存される。

ユースケース：文書の作成、電子サイン、電子登録、承認などのワークフローを組織をまたいで自動化。

 <p>営業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約書や合意書 ・提案書と入札書 ・申込書 	 <p>人事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生者の申請 ・入社手続き書類 ・休暇申請 	 <p>購買</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンダー契約書 ・提案依頼書や入札書類 ・取引申請書 	 <p>法務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘密保持契約書 ・業務契約書 ・裁判所への電子提出と電子証拠開示文書 	 <p>マーケティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告クリエイティブの承認文書 ・パンフレットやカタログ ・肖像権使用許諾同意書
 <p>製品管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要件定義書 ・製品ロードマップのレビューと承認 ・製品マニュアルと製品ガイド 	 <p>システム運用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットの文書化 ・システムの変更承認書 ・ポリシー文書 	 <p>総務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース契約書 ・サービス依頼書 ・設備計画書 	 <p>カスタマーサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス依頼書や作業依頼書 ・フィールドサービス確認書 ・更新契約書 	

電子署名で作業時間を短縮し、業務をより効率的に

SharePoint、PowerApps、およびPower Automate内で自動化された承認と電子サインのワークフローを利用することで、作業者の生産性と作業効率を高め、繰り返し作業をなくし、ミスを減らします。

- ・ SharePointの顧客データや文書を電子契約書に容易に結合できます。電子サイン用に文書を送信し、進捗状況をトラックできます。署名された文書と承認プロセス中に収集されたデータは、すべて自動的にSharePointに保存されます。
- ・ SharePoint内でPower Automateを使用して、文書、契約書、フォームなどを中央リポジトリに保存し、Adobe Signで文書を承認用に電子回覧したり、電子サインしたりすることができます。Power Automateの構築済みテンプレートや視覚的デザインツールを使用すれば文書ワークフローをすばやく自動化できるため、例えば、契約書を金額に応じて複数の承認者に自動的に回覧することもできます。
- ・ フォーム、サービスリクエスト、クレジットカードの登録等の入力プロセスを完全に電子化することで、登録や承認を高速化できます。使いやすく再利用可能なwebフォームを用意して、顧客や従業員がどのデバイスからでも簡単に入力と署名ができるようにしましょう。webフォームから収集したデータをSharePointのリストにマッピングし、完成した文書をアクセスしやすい指定フォルダーに自動的に保存することで、効率性を高め、エラーを低減します。
- ・ Power Automateでサポートされるお気に入りのアプリケーションとカスタマイズしたPowerAppsに電子サイン機能を追加できます。契約書への署名後、自動的にタスクを開始し、通知テンプレートを使用して進捗をトラックします。

簡単なデプロイ、コーディングは不要

Microsoft 365の管理ツールを使用して、Adobe Document Cloudのアドインを一元的かつ迅速にデプロイできます。Adobe SignとPDFサービスについては、追加のソフトウェアを必要とせず、webベースのインストーラーのみを使用してMicrosoft 365アカウントを使いやすい環境にすることができます。デスクトップPC向けのAcrobat DCが必要なユーザーについては、Microsoft Windows Server Remote Desktop ServicesやApple Remote Desktopなどの標準ツールを使用して、インストールと環境設定を効率的に完了できます。シングルサインオン (SSO) がシームレスにサポートされているため、認定ユーザーは手間なくアクセス可能です。利用資格をAdobe Admin Consoleで一元管理することで、作業条件による利用需要の変化にも容易に対応できます。

「Adobe Acrobat Pro DCによって、どの部門のユーザーでも、建築図面が必要なときに、すばやく低コストで図面をデジタル化できるようになりました。外部の業者に依頼する必要がなくなり、コストを90%も削減できました」

CHRISTIAN GOLTL氏、ASFINAG Maut Service GmbH システム開発部長

法令に準拠した文書プロセスと、セキュリティの強化を実現

Adobe Signがサポートする電子署名には、電子サイン、証明書付き署名、クラウド署名が含まれます。すべての署名タイプが、世界中のほとんどの先進国で法的に有効です。Adobe Signは、ISO 27001:2013、SOC 1、SOC 2 Type 2、PCI DSS V3.2.1、FDA 21 CFR Part 11、GDPR-Ready、HIPAA-Ready、GLBA-Ready、FERPA-Ready、FedRAMP Tailoredなどの、最も厳格なグローバル規則と基準に準拠しています。また、すべてのAdobe Signのデータと文書は、転送中と保存中に暗号化されます。

アドビの現在の証明書、基準、規制一覧については、www.adobe.com/go/security-and-compliance-jpをご覧ください。

Microsoft製品への投資を拡張

アドビとMicrosoftは戦略的パートナーシップを締結しています。両社は共同でMicrosoft 365、Dynamics 365、Power Platformにおける革新的なエクスペリエンスの開発に取り組んでいます。アドビとMicrosoft製品との連携により、卓越したカスタマーエクスペリエンスを提供し、困難な環境下でもビジネスを円滑に進めることができます。詳しくは、<https://adobe.ly/dc-msft>をご覧ください。

デジタル文書のグローバルリーダー

アドビは25年以上前にPDFを考案した、安全なデジタル文書のグローバルリーダーです。Adobe SignとAdobe Acrobatは、Fortune 100企業の75%以上で社内外の業務に活用されています。Adobe Document Cloudは完全なペーパーレス化により、リモートチームでもグローバルオフィスでも、ビジネスを常に先に進めることができます。それにより、顧客満足度、ビジネス効率、生産性のいずれもが飛躍的に向上します。

無料体験を含め詳しくは、<https://esign.adobe.com/adobe-sign-microsoft-jp-trial-registration.html>をご覧ください。0120-921-104までお問い合わせください。

Adobe Document Cloudがより速く、より効率的に業務を遂行できるようにサポート*



28倍高速
署名完了までの平均時間



節約総額920万ドル
3年以上のコスト削減効果



420%のROI
損益分岐点は3か月未満



処理1件あたり6ドル+1.5時間
1ユーザーあたりの節約効果
(日本ではさらに印紙税削減の効果も見込まれます)



65時間/年
Acrobat Pro DC1ユーザーあたりの年間節約時間



33時間/年
Acrobat Standard DC1ユーザーあたりの年間節約時間

*『Adobe Document Cloud & Microsoft 365：デジタル体験の向上とコスト削減を実現』、Forrester Consultingがアドビの委託により実施した調査、2019年9月

「Adobe Signのおかげで、新しい職員が初出勤する前に人事関連書類を送信できるようになりました。これは州にとって大幅なコスト削減になります。また、出勤初日の最初の2時間を有意義に利用できるようになり、生産性が向上しました。こうした様々な面で、目覚ましい投資対効果が現れています」

TODD NACAPUY氏、前ハワイ州政府最高情報責任者

